

家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。市の予算と家計では、お金の使いみちも異なり、単純に比較できない部分もありますが、限られたお金を活かし、バランスのとれた使いみちを考えると、という点では似ています。スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

【例えば年収を500万円とすると…】

収入月額

| | | |
|-----|---------------------------|-----------------|
| 月収 | お父さんとお母さんの給料 →市税等の自主財源 | 416,700円 |
| | 役所からの助成金・奨学金 →国・県支出金など | 197,400円 |
| | 各種ローンの借入金 →市債発行 | 72,800円 |
| 収入計 | | 686,900円 |

支出月額

| | | |
|---------|----------------------------------|-----------------|
| 「義務的経費」 | 食費 →人件費 | 121,800円 |
| | 医療費など →扶助費 | 177,300円 |
| | ローンの返済 →公債費 | 56,700円 |
| | 車の購入・自宅の増改築・修繕費 →投資的経費など | 110,900円 |
| | 子どもへの仕送り・おこづかい →補助費・貸付金・繰出金など | 140,400円 |
| | 光熱費・被服費 →物件費 | 79,800円 |
| 支出計 | | 686,900円 |

食費や医療費など「義務的経費」の部分は、支出の中で大きな割合を占めていることがわかります。

新型コロナウイルス感染症への対応

令和4年度の取組 約440億円（令和4年度 当初予算）

川崎市では、感染症対策に取り組むとともに、経済危機からの回復に向けた市民・事業者支援を行ってきました。令和4年度においても、引き続き市民の生命・生活・仕事を守る取組を進めます。

新型コロナウイルスワクチン接種の実施……約137億円

- 希望する全ての市民を対象としたワクチン接種の実施
- 安全かつ適切な接種体制の構築
- 接種促進に向けた医療機関支援の実施

新型コロナウイルス感染症対策の実施……約62億円

- 保育所等の感染症対策備品等の購入・購入支援
- 療養者支援やPCR・抗原検査の実施等 など

市民・事業者への支援 ……約241億円

- 臨時特別給付金の支給
※生活に苦しんでいる子育て世帯及び住民税非課税世帯に対して支給します。
- 保育所等の現場で働く方の処遇改善事業の実施
- 中小企業を対象とした融資・資金繰り支援
- 新しい生活様式に向けた経営支援の実施 など



ワクチンを保管するディープフリーザー